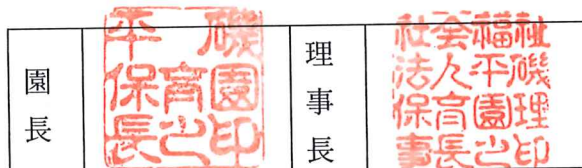


令和3年度 保育所自己評価表

情報公開

施設名 平磯保育園

評価日：令和4年3月17日



保育所の自己評価については、職員の自己評価や日頃の職員同士の話し合いの内容を元に、主任・指導主任・副主任またはリーダーにおいて行われるものとする。

【自己評価の目的】

今年度の本園の運営・保育を総合的に評価し、次年度の計画に活かす。

【評価方法】

- ① 11月または12月に園の自己評価を行い、リーダー会議を各園実施する。
評価内容について、話し合い、意見をまとめる。
- ② 園ごとの成果と課題を明らかにし、管理職会議にて報告。
- ③ 園の全職員に自園及び全園の評価結果をフィードバックする(新年度に向けた会議など)
- ④ 次年度以降の事業計画に反映させる。

項目	内 容	評価		
		はい	いいえ	
経営について	1	地域に必要とされる保育園である。	100%	0%
	2	管理者が責務を果たしており、法人組織・施設の組織体制が有効に機能している。	100%	0%
	3	自己振り返りや保育所自己評価、個人の自己評価を資質向上に活かしている。	95%	5%
	4	職員の処遇や労働環境が整い、意欲を持って働ける職場になっている。	95%	5%
	5	個人情報情報を適正に取り扱っている。	100%	0%
	6	公文書等の授受・発送・処理の取り扱い、保管や処理は慎重かつ適正に行っている。	100%	0%
	7	各種会計処理を適切に行っている。	100%	0%
	8	職員は就業規則や園規則を遵守し、業務にあたっている。	100%	0%
	9	各種会議は効率的・効果的に進めている。	100%	0%
	10	研修を充実させ、その成果を日々の保育に活かしている。	100%	0%
	11	職員同士が互いにアドバイスや相談、助け合い、注意し合いながら、高め合う関係を築けている。	95%	5%
	12	ICT などについての知識を備え、適切に活用している。	40%	60%

項目		内 容	評価	
			はい	いいえ
保育について	13	保育所保育指針を遵守した保育計画の立案、ならびに保育がされている。	100%	0%
	14	計画は子どもの実態、地域の状況、社会情勢などを踏まえた内容になっている。	100%	0%
	15	保育目標や年齢ごとのねらい、保健内容や食育計画が全職員に共通理解され、実践・展開されている。	90%	10%
	16	子どもの人権を尊重した言葉掛けや対応がなされ、子どもの最善の利益(子ども第一主義)で保育が行われている。	95%	5%
	17	子どもの発達のプロセスや発達心理学を理解している専門機関より助言を受け、適切な援助がなされている。	100%	0%
	18	担当職員と子どもの間には信頼関係が成り立っている。	95%	5%
	19	児童や家庭についての必要な記録は洩れなく記載し、適切に保管している。	100%	0%
	20	保健的な環境(健康・安心・安全)な環境の中で保育がされている。	100%	0%
	21	保健・安全に関する指導や訓練を通して、良い習慣が身についている。	100%	0%
	22	子どもにとってより良い環境を作れるよう、創意工夫をしている。	100%	0%
	23	日々の振り返りを基に、保育(業務)の改善に努めている。	100%	0%
	24	行事を通して何を育てようとしているかを明確にし、子どもの主体性を助長する援助が出来ている。	100%	0%
	25	異年齢の触れ合いの大切さを理解し、関わりの場を意識的に取り入れている。	100%	0%
26	幼児は、施設間交流や小学校との連携の機会を設け、保育計画に反映している。	100%	0%	
保護者	27	保護者への対応は丁寧にし、不安や不信感を生じさせていない。	100%	0%
	28	保護者との意思疎通が良好で、子どもの発達に関する共通理解や育児指導、家庭支援を行えている。	100%	0%
	29	保護者が気軽に子育てなどの相談が出来るような機会や声掛けが出来ている。	100%	0%
環境	30	園内外の点検を定期的に行い、衛生的、整頓、情緒的な保育環境を作れている。	100%	0%
	31	不審者対応に常に周到な配慮をしている。	100%	0%
	32	職員が自発的に掃除や片付けを行い、環境構成を工夫したりしながら、環境を整えている。	100%	0%

項目		内 容	評価	
			はい	いいえ
地域との連携	33	保育の様子や園が行っている保育事業などを地域に情報発信している。	80%	20%
	34	小学校・医療機関・専門機関・公共機関などとの交流や情報を共有している。	100%	0%
	35	地域の人材活用、地域の行事等に積極的に参加し、文化や生活に触れている。	80%	20%
	36	保育園を地域の資源として開放し、人々が気軽に訪れる場所になっている。	90%	10%
	37	地域や保護者からの意見を施設運営に反映している。	100%	0%
総合評価（各項目の平均）			96%	4%

【補足】

- 2 - 管理者とは理事長、園長、または園の運営・経営、職員の労働環境を管理するものごとを指す。
- 1 2 - ICT は登園管理機能だけでなく、リモートの利用や遠隔システム、PC や iPad 等を利用しての情報発信や予約管理なども含みます。
- 2 0 - 保育所保育指針参照。
- 2 1 - 園児・職員を対象に考える。
- 2 5 - 直接的な触れ合いだけでなく、感染症に配慮しながら、年上の子が下を思いやり、年下の子は面倒を見てもらえることの心地良さや上の年齢に憧れをもって成長できる環境を整えている。
- 2 6 - 小学校への進学などがスムーズになるよう、施設間で情報交換などを行い、適切に計画や保育に反映できているか。
- 3 1 - 避難訓練、防犯カメラの設置やちゃんと作動し映像が見えているかの確認など。
- 3 3 - ホームページが適宜更新されているか。市町村発信の園の情報の内容が適切か。
- 3 5 - 感染症で参加が無い場合は「いいえ」を選択。
- 3 6 - 子育て支援、入園相談、一時預かりなど、委託児童以外の子どもや保護者が子育てや悩みについて相談でき、その手助けが出来ているか。

【理由や改善策、課題など】

- 項目 3 - 導入するようになったが、活かしきれていないと切り切れない部分がある。
- 項目 4 - 処遇や労働環境において、改善したい部分がある。
- 項目 1 1 - 職員同士のコミュニケーションややり取り等が円滑なものか、確認したいと思う部分がある。
- 項目 1 2 - 今後導入される登園管理システムについて、しっかりと学びたい。
ICT について学び、子ども達の様子を保護者に伝える手段として活用したい。
- 項目 1 5 - 食育計画が次年度より、実践できるようにしたい。
- 項目 1 6・1 8 - 子どもに対する言葉掛けや対応など、細かな振り返りが必要に思う。
- 項目 3 3 - ホームページや ICT を活用し、もっと積極的に情報発信していきたい。
- 項目 3 5 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで参加していた地域行事がかなり減ってしまった。
- 項目 3 6 - 新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、園で色々な方と交流できるようになると良いと思う。

令和3年度 保育所自己評価表

情報公開

施設名 海の子保育園

評価日：令和4年3月17日

園 長		理 事 長	
--------	--	-------------	---

保育所の自己評価については、職員の自己評価や日頃の職員同士の話し合いの内容を元に、主任・指導主任・副主任またはリーダーにおいて行われるものとする。

【自己評価の目的】

今年度の本園の運営・保育を総合的に評価し、次年度の計画に活かす。

【評価方法】

- ① 11月または12月に園の自己評価を行い、リーダー会議を各園実施する。
評価内容について、話し合い、意見をまとめる。
- ② 園ごとの成果と課題を明らかにし、管理職会議にて報告。
- ③ 園の全職員に自園及び全園の評価結果をフィードバックする(新年度に向けた会議など)
- ④ 次年度以降の事業計画に反映させる。

項目	内 容	評価		
		はい	いいえ	
経営について	1	地域に必要とされる保育園である。	100%	0%
	2	管理者が責務を果たしており、法人組織・施設の組織体制が有効に機能している。	100%	0%
	3	自己振り返りや保育所自己評価、個人の自己評価を資質向上に活かしている。	100%	0%
	4	職員の処遇や労働環境が整い、意欲を持って働ける職場になっている。	100%	0%
	5	個人情報情報を適正に取り扱っている。	100%	0%
	6	公文書等の授受・発送・処理の取り扱い、保管や処理は慎重かつ適正に行っている。	100%	0%
	7	各種会計処理を適切に行っている。	100%	0%
	8	職員は就業規則や園規則を遵守し、業務にあたっている。	100%	0%
	9	各種会議は効率的・効果的に進めている。	100%	0%
	10	研修を充実させ、その成果を日々の保育に活かしている。	100%	0%
	11	職員同士が互いにアドバイスや相談、助け合い、注意し合いながら、高め合う関係を築けている。	100%	0%
	12	ICT などについての知識を備え、適切に活用している。	100%	0%

項目	内 容	評価		
		はい	いいえ	
保育について	13	保育所保育指針を遵守した保育計画の立案、ならびに保育がされている。	100%	0%
	14	計画は子どもの実態、地域の状況、社会情勢などを踏まえた内容になっている。	100%	0%
	15	保育目標や年齢ごとのねらい、保健内容や食育計画が全職員に共通理解され、実践・展開されている。	88%	12%
	16	子どもの人権を尊重した言葉掛けや対応がなされ、子どもの最善の利益(子ども第一主義)で保育が行われている。	100%	0%
	17	子どもの発達のプロセスや発達心理学を理解している専門機関より助言を受け、適切な援助がなされている。	100%	0%
	18	担当職員と子どもの間には信頼関係が成り立っている。	100%	0%
	19	児童や家庭についての必要な記録は洩れなく記載し、適切に保管している。	100%	0%
	20	保健的な環境(健康・安心・安全)な環境の中で保育がされている。	100%	0%
	21	保健・安全に関する指導や訓練を通して、良い習慣が身についている。	100%	0%
	22	子どもにとってより良い環境を作れるよう、創意工夫をしている。	100%	0%
	23	日々の振り返りを基に、保育(業務)の改善に努めている。	100%	0%
	24	行事を通して何を育てようとしているかを明確にし、子どもの主体性を助長する援助が出来ている。	100%	0%
	25	異年齢の触れ合いの大切さを理解し、関わりの場を意識的に取り入れている。	88%	12%
	26	幼児は、施設間交流や小学校との連携の機会を設け、保育計画に反映している。	62%	38%
保護者	27	保護者への対応は丁寧にし、不安や不信感を生じさせていない。	88%	12%
	28	保護者との意思疎通が良好で、子どもの発達に関する共通理解や育児指導、家庭支援を行っている。	100%	0%
	29	保護者が気軽に子育てなどの相談が出来るような機会や声掛けが出来ている。	100%	0%
環境	30	園内外の点検を定期的に行い、衛生的、整頓、情緒的な保育環境を作れている。	100%	0%
	31	不審者対応に常に周到な配慮をしている。	100%	0%
	32	職員が自発的に掃除や片付けを行い、環境構成を工夫したりしながら、環境を整えている。	100%	0%

項目	内 容	評価		
		はい	いいえ	
地域との連携	33	保育の様子や園が行っている保育事業などを地域に情報発信している。	50%	50%
	34	小学校・医療機関・専門機関・公共機関などとの交流や情報を共有している。	100%	0%
	35	地域の人材活用、地域の行事等に積極的に参加し、文化や生活に触れている。	0%	100%
	36	保育園を地域の資源として開放し、人々が気軽に訪れる場所になっている。	100%	0%
	37	地域や保護者からの意見を施設運営に反映している。	100%	0%
総合評価（各項目の平均）		94%	6%	

【補足】

- 2 - 管理者とは理事長、園長、または園の運営・経営、職員の労働環境を管理するものこのことを指す。
- 1 2 - ICT は登園管理機能だけでなく、リモートの利用や遠隔システム、PC や iPad 等を利用しての情報発信や予約管理なども含みます。
- 2 0 - 保育所保育指針参照。
- 2 1 - 園児・職員を対象に考える。
- 2 5 - 直接的な触れ合いだけでなく、感染症に配慮しながら、年上の子が下を思いやり、年下の子は面倒を見てもらえることの心地良さや上の年齢に憧れをもって成長できる環境を整えている。
- 2 6 - 小学校への進学などがスムーズになるよう、施設間で情報交換などを行い、適切に計画や保育に反映できているか。
- 3 1 - 避難訓練、防犯カメラの設置やちゃんと作動し映像が見えているかの確認など。
- 3 3 - ホームページが適宜更新されているか。市町村発信の園の情報の内容が適切か。
- 3 5 - 感染症で参加が無い場合は「いいえ」を選択。
- 3 6 - 子育て支援、入園相談、一時預かりなど、委託児童以外の子どもや保護者が子育てや悩みについて相談でき、その手助けが出来ているか。

【理由や改善策、課題など】

- 項目 5 - 個人情報の取り扱いについて、再度園で確認を取る必要がある。
- 項目 1 5 - 話し合う機会を作り、他のクラスの状況も把握したい。
- 項目 1 6 - 子どもへの対応について、日頃の様子の振り返りから、子どもの最善の利益についてもう一度見直したい。
- 項目 2 4 - 「はい」と回答したが、主体性を大切にしたい行事の取り組み方について、よりよい方法を考えたい。
- 項目 2 5 - 異年齢保育がもっと意識して取り入れられるように、話し合いをしていきたい。
- 項目 2 6 - 新型コロナウイルス感染症の影響で、施設間交流の機会を作ることができなかった。
- 項目 2 7 - 保護者に不安や不信感を与えることが無いよう、臨機応変な対応ができるように学び、対応を見直したい。
- 項目 3 3 - ホームページが更新されていないので、適宜更新し、様々な人が園に興味を持ち、知ってもらえるきっかけにしたい。
- 項目 3 5 - コロナ禍で地域の行事等に参加出来なかった。職員間で話し合いを持ちながら、可能な範囲での取り組みはできた。
- 項目 3 6 - 新型コロナウイルス感染症の影響で、解放が出来ないじきもあったが、その都度、より良い方法を話し合うことで、対策をとる事ができた。